



コミュニティ・スクール通信

No. 20 令和8年(2026年)9月7日(文責 古山)

八束小 超ミニミニみらい会議 6年生

8月31日(月)に学校運営協議会委員や地域の大人総勢24名が参加してください、6年生とテーマをもとに対話をしました。それぞれのテーマについて、どのグループも楽しく意見を交わす姿がありました。子どもも大人も自分たちの住んでいる地域のこれからを考えることができた時間となりました。

「八束小の伝統として残したいもの、ことは？」

「運動会の大宮踊り」「スキー教室」「あいさつ」「自校給食」「蒜山登山」「クラブ活動」「縦割り活動」「やつか」「笑顔」など



「10年後のこの地域(蒜山)にどうなっていてほしい？」

「自然豊か」「蒜山にしかない店(みかもストア、風の家など)が残っていてほしい」「人やお店が増えてほしい」「祭り・花火大会が続いてほしい」「八束小が残っていてほしい」「子どもの数が減らないで」「大人が働く場所が増えてほしい」

感想から(抜粋)

6年生 ~未来のことを初めて考えてこういう風になったら嬉しいなとかこんなことがあったらいいかもと大人の人と対話してみて蒜山のよさとか学校のよさに気づけて、蒜山にもっと住みたいくなるような自分の気持ちに初めて気づけた。

大人 ~子どもたちは細かいところまで学校や地域のことを見ているんだなと思いました。10年後に残したい、継続していきたいことを子どもたちと話ができて(聞けて)とても楽しかったです。再認識できました。

自分の思ったことを言えることが大事で素直な心に育っていると思いました。10年後蒜山に帰って仕事についてくれる子がいますように。

第2回学校運営協議会より

学校からの1学期の様子や学力調査結果の報告、7月に実施した「よりよい八束小づくりアンケート」の結果等をもとに協議しました。数値に現れる課題を率直に共有し、数値だけでは現れない子どもたちの良さや地域と学校がつながることの大切さについて意見交換しました。

